

生ごみの減量・再資源化施策に関する市民説明会 概要
【真田地域】

1 開催概要

開催日時		令和 6 年 1 1 月 6 (水) 18:30～19:20
開催場所		真田中央公民館 第 1 会議室
出席者	市民	2 2 名
	行政（市職員）	環境部長、ごみ減量企画室職員 4 名 資源循環型施設建設関連事業課職員 1 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	説明会	この説明会の開催目的は何か。	ごみ減量の必要性と有機物リサイクル施設計画を市民の皆さまに周知し、意見をいただくために開催した。
2	減量目標値	可燃ごみの目標値は、令和 9 年度に 28,900 トンとあるが根拠が分からない。	上田市ごみ処理基本計画で掲げた目標値であるが、過去のごみ処理量の推移や人口減少を加味したうえで、更にごみの減量を進めていくことを含めた減量目標値となっている。
3	生ごみ分別	生ごみの中に小さなプラごみや異物が入ってしまうと思われるが、堆肥に影響はないのか。	施設では生ごみと異物を分離する破除袋機を導入する計画であり、かなり高い精度で異物を除去できる。最終的に、ふるい機でも異物を取り除くため堆肥には影響がないと考えている。
4	他市事例	・東御市や長和町の堆肥の評判はどうか。 ・どのように堆肥を配布しているのか。	・東御市、長和町共に堆肥を無料で市民に配布しているが、希望者が多く好評だと聞いている。 ・東御市では年に数回配布日を決めて、市民が取りに行く。

5	集積所管理	・夏場は生ごみの臭いなど気になるが、集積所への生ごみの出し方はどのようにするのか。 ・集積袋やバケツ等は自治会で定期的に清掃するのか。	他市町村では、生ごみ袋をまとめて入れる集積袋や蓋付きバケツなどにより臭気やカラス対策をしているため、同様の対策を検討してまいりたい。 ・他市町村では、清掃していないことが多いと聞いている。
6	周知	真田地域もアパートが多くなっており、自治会に入らない人も増えている。中心市街地だと顕著だと思うが、その方々への周知や協力の依頼はどのように行うのか。	自治会に入っていない方への周知は課題であるが、自治会単位の説明会のほか、生ごみ分別のパンフレット配布や集積所の掲示物による周知を検討してまいりたい。
7	堆肥	添加物が含まれた生ごみから作られた堆肥が問題ないという科学的な根拠はあるか。	科学的な根拠は確認していないが、生ごみは人の口に入れられるものであるため、堆肥としては問題ないと考えている。堆肥は肥料登録を行い、試験栽培等でも効果を検証していきたい。
8	市民意見の調査	リサイクルが広がっているような話をされているが、市民はリサイクルを押し付けられて、PTA などでは資源回収当番を嫌々やっている。市民意見の調査は実施しているか。	生ごみリサイクル推進プランの策定にあたり、令和元年度に無作為抽出した市民 1,000 人を対象に、ごみに関するアンケート調査を実施した。調査では、生ごみを分別収集してリサイクルした場合に協力するかという設問に対し、約 7 割の方が協力すると回答いただいた。その結果を以って、生ごみの堆肥化を検討してきた。